

公共事業事前評価調書(平成27年度予算要望)

所管課:道路街路課 担当班:企画調整班

事業名	城辺下地線道路改築事業		事業区分	道路事業	事業主体	沖縄県
事業箇所	宮古島市城辺字下里添～下地字与那覇					
事業の諸元	延長:L=7.1km 幅員:W=11.5m(片側歩道部) W=14.5m(両側歩道部)					
事業の概要	<p>一般県道城辺下地線は、主要地方道保良西里線と一般県道保良上地線を結ぶ宮古島中間部を東西に横断する道路である。宮古島は保良西里線、平良城辺線、国道390号の主要幹線道路が縦貫し骨格を形成しており、本路線は、これら主要幹線道路を横断的に結ぶことにより、地域間の連携を高め道路ネットワークを補完する重要な路線である。</p> <p>本路線は、事業区間を分けて整備しており、先に保良西里線～友利線までの5.8kmについて、平成26年度に完了を予定している。引き続き、友利線～保良上地線までの7.1kmについて事業化することで、城辺下地線全線を完成させ道路ネットワークとしての機能を高める。</p>					
事業の必要性・効果等	<p><必要性等> 本路線を整備することにより、道路ネットワークとしての機能が高まり、地域間の連携や農作物等の輸送、各観光施設へのアクセス向上が図られ、地域産業の活性化に寄与する。また、路線延長上の前浜地区には県営宮古公園(仮称)が計画されていることから、アクセス道路としての機能が期待される。</p> <p><効果等></p> <ul style="list-style-type: none"> ・物流効率化の支援(農業を主体とする地域において農作物の流通の利便性が向上する) ・幹線ネットワークの構築(現道における大型車のすれ違い困難区間を解消する) ・個性ある地域の形成(主要な観光地へのアクセス向上及び地域産業の活性化に寄与する) 					
事業期間	事業採択	平成27年度	完了(予定)	平成36年度		
全体事業費	18.5 億円	補助・単独の別	補助	補助率	9/10	
費用対効果	B/C = 1.68	総便益:B	30.4 億円	総費用:C	18.1 億円	基準年
		走行時間短縮便益	26.0 億円	事業費	15.2 億円	平成 26 年度
		走行経費減少便益	3.5 億円	維持管理費	2.9 億円	
		交通事故減少便益	0.9 億円			
事業着手の熟度・上位計画との整合性	<p>・沖縄21世紀ビジョン基本計画(平成24年5月)の「離島における定住条件の整備」のなかで、道路については、自立的な地域づくりと定住支援を図る観点から、地域特性に応じた道路整備を推進することとしている。また、沖縄21世紀ビジョン実施計画(平成24年9月)においては、「離島における定住条件の整備」の中の「定住を支援する道路整備」として位置づけられている。</p> <p>・「宮古都市計画」都市計画区域の整備、開発及び保全の方針(平成22年3月)及び「宮古島市都市計画マスタープラン(平成21年3月)」において地域連携道路として整備推進が示されている。</p>					
環境への配慮	歩道植栽により緑陰を形成し、歩行者及び周辺的生活環境へ配慮した整備を行う。					
関係する地方公共団体等の意見	<p>・宮古島市より県道城辺下地線の未整備区間における早期整備の要請書が提出されている。(平成20年7月)</p> <p>・平成25年度沖縄振興拡大会議における市町村要望事項、並びに議会陳情の平成25年度「離島・過疎地域振興に関する要望事項」において城辺下地線の整備が要望されている。</p> <p>・地元自治会長説明会において、早期整備を望んでいるとの意向を確認した。(平成26年5月)</p>					
概要図(位置図)						